

令和7年12月議会定例会一般質問

No. 1
通告順

質問事項	質問の要旨	質問者
1. そろそろ必要では(リニア中央新幹線開業を見据えた町としての統一した事業促進計画)	<p>リニア新幹線の工事が着々と進む中、説明会や協議会の中では以前の様に反対の意見だけでなくJR側との連携を図り、南木曽駅のインフラ整備を含む要望などの意見が出てきています。町長としては反対も賛成も意見を聞くとのスタンスだったと思います。</p> <p>しかしながら、そろそろ町として統一した考えをまとめJR側とのオフィシャルな交渉開始のタイミングだと思いますが如何お考えでしょうか。</p>	2番 藤原 昭次
2. 南木曽を守るために必要な条例策定	<p>日本中を騒がせたクマ問題。実際こんなにも広域で被害が確認されている今、何が原因なのか、1つ2つの要因では無いと思いますが人里に出て来てもらわない環境整備が急務と思われます。プラス生活幸福度、観光資源の維持と保護の観点から…。</p> <p>①メガソーラー建設禁止条例</p> <p>SDGs という言葉の信憑性が揺らぎ始め、高市内閣になったことから建設自体減っていくとは思いますが、絶対に南木曽には作らないといった姿勢で臨みたいと思います。</p> <p>②支障木及び果樹の剪定、伐採に関する条例</p> <p>南木曽町の場合、町内に不在の地権者さんが多く確認に手間が掛かる場合があると思います。また昔は食用にしていたらう柿などの果樹もそのまま放置され野生動物出没の要因の1つになっていると思われます。そこで例えば1年間手入れがなされていないような場合、行政判断で剪定、伐採を行える仕組みの条例です。</p> <p>以上の2つの条例案ですがご検討いただけるか否かお聞かせ下さい。</p>	

質問事項	質問の要旨	質問者
1. 飼い主のいない猫(のら猫)の不妊去勢手術について、補助金を求める声が上がっているが、町としての考えは。	(1)「ねこの会なぎそ」のTNR活動について(捕獲→去勢・不妊手術→戻す) (2)蘇南高校生徒による探求の学習、新聞報道等を町としてどう考えるか。 (3)現在木曽郡内での補助金の様子。 (4)今後の町としての対応について。	3番 伊藤 寿子
1. 中学校の環境整備について 2. 三留野地区の防災備蓄倉庫について	(1)グラウンドの改良が必要と思われるがいかがか。 (2)停電時の非常電源はあるか。 (3)庭園の樹木が繁茂している。剪定などの整備計画を伺う。 その後の整備計画を伺う。	9番 高橋 進
1. わが町の蘇南高校の現状と今後について	蘇南高校は県立ですが、高校の存続が町の将来に大きく影響してきますのでその観点から質問をします。 (1)第2次高校再編整備計画は令和3年に公表され当面の間現状を維持することとなった。 再編協議段階での蘇南高校生の入学者数と在籍生徒数の将来予測について (2)令和3年度から入学者数の激減と5年度以降県外(岐阜県)からの入学者が激減しているがその理由。 (3)現在、蘇南高校は中山間地存立校として指定されているが、在籍生徒数が120人以下の状態が2年連続した場合は再編対象となるが今後の見通しは。 (4)県立高校特色化推進事業について (5)蘇南高校に観光を学べるカリキュラムの創設について (6)町の奨学金制度の改正について	4番 近藤 隆
1. 地域バス対策について	(1)地域バス保神線、妻籠線と中央本線との乗り継ぎが合っていないどうにかして欲しいと住民から要望があるが対応出来ないか。 (2)妻籠第一駐車場がバスの乗り継ぎの中心になっている。今後、飯田、阿智、妻籠、馬籠、中津川を繋ぐバスが計画されています。妻籠第一駐車場の安全対策は大丈夫なのか。	5番 矢澤 和重

質問事項	質問の要旨	質問者
1. ふるさと納税について	<p>ふるさと納税寄附金は、町の貴重な財源であり、今後の歳入確保という観点から極めて重要な事業だと考えております。産地の問題もありましたが、今後も真摯に事業を継続する皆さんを引き続き支えていく必要があります。</p> <p>そこで寄附金額の更なる増加に向けて、今後の見通しを伺いたく、以下質問いたします。</p> <p>(1)現在、寄附受付に「さとふる」を利用していると承知していますが、それ以外でのPR、情報発信等、検討していることがあれば教えて下さい。</p> <p>(2)地域事業者がより良い返礼品を生み出せるよう、事業者の返礼品の開発・改善に対して、町として補助金や助成の仕組みを設ける考えはあるでしょうか。</p> <p>(3)ふるさと納税による寄附金は、ふるさと振興基金を通じて各事業に充当されていますが、この基金の具体的な使途について、住民からの要望や意見を取り入れることはできないか？</p>	1番 山下 航
2. 地域おこし協力隊について	<p>ネクストコモンズラボさんと連携して“入口の段階で人材をしっかりと絞り込む”という現在の取り組みは、私は大いに評価しています。地域の課題に合った人材を入口で丁寧にマッチングすることは、協力隊制度の成功率を高めるうえで非常に重要な視点であり、本町の先進的な取り組みだと感じております。一方で、協力隊制度の本当の価値は、入口だけでなく、その方が任期後も地域に残って活躍していただけるかどうか、すなわち“定住”にあります。制度そのものが持つ難しさも踏まえると、入口戦略だけでは十分ではなく、次のステップとして“出ていかない条件づくり”を町として整えていく必要があると考えています。そこで伺います。</p> <p>入口の仕組みづくりに続く施策として、地域おこし協力隊の皆さんに本町へ定住していただくために、町としてどのような方向性や具体的な取り組みをお考えでしょうか。</p>	

質問事項	質問の要旨	質問者
1. 町への住民の要望について	<p>(1) 現在各課への直接の要望、区長会からの要望、地域振興会からの要望、各種団体からの要望、議会からの要望、などあると思いますが所感を伺います。</p> <p>(2) 定期的に中高生の意見、要望を聞く機会を作れないか。</p> <p>(3) 町政報告会について</p>	6番 松原 崇文
1. 町の農業政策について	<p>農業と農地の維持は、国の構えの問題であり、食料安全保障の点、大規模災害時の食料確保等諸点で必要であるという観点から質問する。</p> <p>(1) 南木曽町として今後10年スパンでの農業の姿をどう把握し、どのような対策を検討しているか。</p> <p>(2) 高齢化・省力化対策として、農業の機械化への支援をどう考えているか。</p> <p>(3) 農地の担い手確保、営農企業の育成対策は。</p> <p>(4) 相続をしても山や農地は要らない・処分したいという相談を多く受けるが、近隣営農者への譲渡、賃貸、使用貸借への支援体制はどうか。</p> <p>(5) 今年度から今まで続けてきた農地利用権設定 促進事業が農地中間管理事業に一本化されたが、手続的に問題はないか。</p>	8番 山崎 隆二

質問事項	質問の要旨	質問者
1. リニア計画について	<p>(1)発生土の処理状況</p> <p>(2)水資源の状況への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妻籠水道水源保全地区の令和6年度分観測データの公表と課題について ・広瀬工区の減渇水報告と、現状の町内関連トンネル湯水量、水資源データの公開を求める ・男タル川の正常流量はどうなっているか <p>(3)非常口の機能と環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱換気用の風路トンネル計画とその影響は ・供用時の非常口の構造と環境整備はどうなるのか 	7番 坂本 満
2. 子育て支援と医療・福祉	<p>(1)木曽病院の分娩問題の展望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当面の対応 ・分娩のできる地域への取り組みを <p>(2)こども園分園の廃止(閉園)案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分園廃止(閉園)の経緯は住民不在になっていないか ・現状での課題への対応は <ul style="list-style-type: none"> ・無償化に伴う希望者の増加と定員数および扱い手 ・分園の役割と遠隔地への対応 ・本園の園舎建て替え ・保育に欠けることがなく働ける環境作りを 	
3. 防災について	<p>(1)地域防災における防災士の役割と町での活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災における女性の役割の認識は ・防災士資格の取得による防災対応技術の向上を ・町の防災計画における住民の役割の日住的な啓蒙と訓練を <p>(2)道路や住宅周辺の支障木等の伐採への補助事業の検討状況について</p>	